

平成 30 年度岩手医科大学看護学部自己点検評価報告書

1. 自己点検評価事項

(1) 評価事項

「看護学教育モデル・コア・カリキュラム（平成 29 年 10 月文部科学省公表）」（以下「コア・カリ」という。）を活用した本学部教育内容の点検・評価

(2) 自己点検評価

看護系大学における教育水準の維持向上、地域包括ケアシステムの構築、多職種連携・チーム医療の推進、更なる医療安全の要請等の社会の変化に対応し、看護師として必要となる能力を備えた質の高い人材養成が必要となっていることを踏まえて文部科学省が主導して策定したコア・カリの学修目標を活用し、本学部の設置の趣旨や目的を達成するために、教育内容を点検・評価する。

(3) 責任主体となる委員会等

看護学部教務委員会

2. 改善目標／改善計画

(1) 改善目標

本学部の教育内容を点検・評価し、看護学教育の更なる充実を図る（目標達成予定年度：令和 2 年度）。

(2) 改善計画 PDCA : P

看護学部自己評価委員会（平成 30 年 3 月 7 日）よりコア・カリに基づいた本学部の教育内容の点検評価について以下のとおり改善計画の提案があり、看護学部教授会（平成 30 年 3 月 22 日）において承認された。

【平成 29 年度】

- ・コア・カリに関する情報収集（文部科学省 HP、説明会への参加）を行う。
- ・コア・カリに対する本学部の教育状況を把握するため、看護学部教員、教養教育センター教員および一部の兼任講師が担当する授業の科目責任者等へ調査を実施し、対比表を作成する。

【平成 30 年度】

- ・コア・カリに対する本学部の教育状況を把握するため、兼任講師および非常勤講師が担当する授業の科目責任者等へ調査を実施し、対比表を作成する。
- ・調査終了後、科目間で対比表の内容を精査し、未対応項目があった場合は、対策を講じる。

【平成 31（令和元）年度】

- ・対比表を教育要項（シラバス）に掲載（以降毎年度）し、学生と教員が共通認識のもと授業を実施する。
- ・授業終了後、科目ごと（第 1～3 学年の全科目）に実施状況をチェックし、改善を要する点があった場合はその要因を明確にし、対比表を更新する。

【令和 2 年度】

- ・授業終了後、科目ごと（第 1～4 学年の全科目）に実施状況をチェックし、改善を要する点があった場合はその要因を明確にし、対比表を更新する。

3. 実施状況と自己評価（平成 30 年度）

(1) 実施状況 PDCA : D

- ・コア・カリに対する本学部の教育状況把握のため、教務委員会（平成 29 年度第 7 回）および教授会（平成 29 年 11 月、平成 30 年 3 月）において承認された実施概要ならびに自己点検評価報告書改善計画に基づき、教育要項（シラバス）の作成時期に合わせて、看護学部教員、教養教育センター教員、兼任講師および非常勤講師が担当する授業の科目責任者等へ調査を実施した。
- ・調査終了後、教務委員会（平成 30 年度第 11 回）において、本学部の教育内容がコア・カリ全項目に対応していることを確認し、対比表を作成した。

(2) 自己評価

上記のとおり、改善計画に基づき、本学部の教育内容がコア・カリ全項目に対応していることを確認し、対比表を作成した（対比表は、平成 31（令和元）年度教育要項（シラバス）に掲載済み）。

4. 岩手医科大学自己評価委員会評価結果

令和元年度秋頃通達予定。